

## 抜歯後に気をつけること！ ドライソケットとは!?



こんにちは。  
8月20日は「蚊の日」です。

19世紀末にイギリスの医学者が蚊の体内からマラリアの原因となる原虫を発見したことで、

世界中で「蚊の日」と呼ばれるようになりました。

蚊に刺されてしまうと  
かゆくてついつい掻いてしまったり  
触ってしまったりしてしまうと思います。

刺されても掻かないほうが良いと  
言われていますが、  
それは歯を抜いたときも同じこと。

抜歯をした跡が気になって  
触ったり掻いたりすると  
強い痛みを引き起こすことがあります。

もしも抜歯後に強い痛みが続いている場合、  
それはもしかすると「ドライソケット」  
かもしれません。

### 👉抜歯後に強い痛みが…

歯を抜くと、ぽっかりと穴が空き  
骨がむき出しになります。

通常はその穴に血液がたまって  
「血餅（けっぺい）」となり、  
時間をかけて治っていきます。



しかし、血餅がうまくできなかつたり、  
抜歯後のある行為によって  
血餅が剥がれてしまったりすると、  
あごの骨がむき出しになってしまいます。

その骨が細菌感染を起こした状態を  
「ドライソケット」といい、  
強い痛みの原因となります。

### 👉ドライソケットを防ぐには

抜歯後は約 1 日後までに空いた穴に  
血が固まり、血餅ができます。

ところが、何度も強くすすぐような  
激しいうがいや  
傷口を舌や指などで触れる行為は  
せっかくできた血餅を剥がしてしまう  
恐れがあります。

気になっても触らないようにした上で、  
血餅が定着するまでの数日間は  
歯ブラシが直接触れてしまう  
ことが無いように  
優しく歯みがきをするなど  
ご注意ください。



また、タバコを吸う方は特に注意が必要です！  
喫煙は血流を悪化させてしまうため  
ドライソケットの原因になると言われています。

### 👉もしかしてドライソケット？

通常の場合、抜歯をすると  
数日間は痛みが出ることがあります。

しかし、ドライソケットになると  
強い痛みが 10 日～2 週間程度続くことも多く、  
痛みが落ち着くまで 1 か月近くかかることも。

「痛みがずっと続いている」  
「数日経ったら痛みが強くなってきた」

などの違和感を覚えたら、  
すぐに当院までご相談ください。

